

16 明治町自主防犯会（大治町）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	明治町自主防犯会
2 事業名	みんなで、守ろまい。安心・安全な地域づくり事業
3 事業実施 結果	<p>(1) パトロール体制の強化</p> <p>本会は会員を4個班に編成し、奇数班1回、偶数班1回の計月2回、原則第1・3火曜日の午後8時から概ね1時間、地域内を北部と南部方面に分かれて防犯パトロールを実施したほか、原則月末の火曜日に空き巣被害対策として全員参加による防犯パトロールを実施し、犯罪抑止、防犯意識の向上を図った。</p> <p>ア 8月実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日、22日及び29日に実施 ・ 延べ42人参加 <p>イ 9月実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5日、19日及び26日に実施 ・ 延べ43人参加 <p>ウ 10月実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3日、17日及び24日に実施 ・ 延べ45人参加 <p>エ 11月実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7日、21日及び28日に実施 ・ 延べ44人参加 <p>オ 12月実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5日及び19日に実施 ・ 延べ29人参加 <p>カ 町内活動（夜回り）と連動した防犯・防火パトロールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月2日（土）19時から概ね1時間、地区消防団、組長、子供会と連携して実施 ・ 参加人員 37人



パトロール出発前・
終了後の打合せ状況



南部方面のパトロール経路図



防犯パトロール実施状況

(2) 啓発イベントの企画・実施及び街頭啓発活動の実施

防犯パトロール中に積極的に地域住民に声かけを実施したほか、防犯講習会の開催、街頭啓発キャンペーンにより防犯意識の高揚を図った。

ア 防犯講習会の開催（ぼうさい祭の一環で実施）

- ・ 10月29日（日）10時25分から概ね30分間、明治町多目的集会所で開催
- ・ 講師 津島警察署生活安全係長
- ・ 内容 住宅対象侵入盗の現状と対策などについて
- ・ 参加者 60人



防犯講習会開催状況

イ 啓発活動の実施

防犯講習会受付において、参加者に広報チラシと啓発品を配布しながら、住宅対象侵入盗、自動車盗被害予防を呼びかけた。

また、会場外テント内に大治町防犯協会の広報ブースを設置し、役場担当者が来場者に対して啓発品を配布しながら、「常時施錠、補助錠の取付け」などを呼びかけた。



啓発活動実施状況



ぼうさい祭参加呼びかけチラシ

ウ 街頭啓発キャンペーンの実施

9月12日、10月24日及び11月7日の午前7時頃から概ね1時間、名古屋市営バス・名鉄バス「大治西条」停留所付近において街頭啓発キャンペーンを実施、啓発品を配布しながら、補助錠やセンサーライトの取付け等の空き巣対策、ハンドルロックやタイヤ固定装置の取付け等の自動車盗対策を呼びかけた。



街頭啓発キャンペーン実施状況

(3) 地域住民や企業、店舗等と連携した防犯活動の実施

防犯のぼり旗2種類「空き巣ねらい注意」「防犯活動実施中」及び防犯横断幕3種類「空き巣ねらいに注意!」「地域安全運動実施中」「車上狙いに注意」を住民宅のほか、活動区域内にある工場や市バス停留所フェンス等住民の目につき易い場所に設置し防犯意識の高揚を図った。



防犯のぼり旗の設置状況

(4) あいさつ・声かけ運動

犯罪者が近寄りにくい住環境を確立するため、広報チラシを作成し、組長等の協力を得て地区内全世帯に配布して「あいさつ・声かけの徹底」を呼びかけた。

また、愛知県地域安全課が展開している「安全安心の輪運動」に連動させるため、「安全安心ステッカー」を併せて配布し、郵便受け等に掲げて推進することにより、地域連帯感の強化を図った。



広報チラシ等



ステッカー掲出状況

(5) 犯罪抑止環境の整備

当地区は、前述のとおり自動車による交通アクセスが良く、犯罪者が往来する可能性が高いことから、活動区域内の4地区に赤色回転灯（パトライト）を各1個設置し、「見える・見せる」防犯に努めた。

また、適宜設置場所を移動し、効率的な活用に努めた。



赤色回転灯の設置状況

(6) その他

ア 広報チラシのみの配布では、啓発効果があまり期待できないことから、「防犯フラットマグネット」「LED フラッシュライト」「防犯バラエティセット」等の啓発品を配布し意識付けを図った。

イ 各家庭における住宅対象侵入盗及び自動車盗予防対策を推進するため、広報チラシを作成し各戸配布した。



啓発品（警察、役場からの支援分を含む）



広報チラシ（両面印刷）

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>ア 成果</p> <p>当会は、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という共助精神のもと、平成14年に防災組織を発足させた。</p> <p>その後、街頭犯罪発生率の高まりに伴い、「安全で安心な地域づくり」を目指し、平成22年に防犯活動を取り入れ活動を始めた。</p> <p>独自の防犯講習会や防犯パトロールを実施してきたが、ここに来て活動のマンネリ化や組織の硬直化が問題となってきた。</p> <p>そんななか、今回の事業を通じて活動の活発化に成功するとともに、当会の活動が地域住民や企業などに広く知られるところとなり、活動に対する理解が深まったと思われる。</p> <p>住宅対象侵入盗や自動車盗は取組期間内にも発生しており、撲滅にはまだ至っていないが、隣保共同精神の再構築や地域住民の防犯意識の向上につながっていると確信している。</p> <p>イ 課題</p> <p>(ア) 地域警戒力を強化するため、活動区域内4か所に赤色回転灯を設置したが、活動当初、不審に思った地区住民から警察に通報があり、対応に苦慮した(活動内容を周知するため、広報チラシを作成し地区内回覧)。</p> <p>(イ) 会員の高齢化が進んでおり、後継者の確保、育成が必要である。</p> <p>(ウ) 防犯講習会等への参加者が固定化しつつあり、一人暮らしの高齢者や若年層への浸透が必要である。</p> <p>(エ) 企業や店舗、地域住民の防犯意識の格差が大きい。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>ア 後継者の確保、育成に努める。</p> <p>イ 今回の事業を振り返り、効果のあったものは今後とも継続実施していく。</p> <p>ウ 他の防犯組織との交流を深めるとともに、行政や警察との協働、連携を強化していく。</p> <p>エ 災害時要配慮者や若年層への情報提供を推進する。</p>
----------------------------------	---